

けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。
「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する情報をお知らせします～



県北地方では、ももの花が満開！夏には美味しい桃をお届けしますよ～！



天皇・皇后両陛下の行幸啓を賜った桑折町「みなみ果樹園」のももの花

福島県県北農林事務所 新所長あいさつ



須田博行県北農林事務所長

本年4月1日、県北農林事務所長に着任しました須田博行と申します。

日頃より県北地方の農林業の推進に格別の御支援と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、県では、東日本大震災及び原子力発電所事故からの復興・再生を進めるため、「ふくしま農林水産業新生プラン」を策定し、新生運動県推進本部を設立しました。平成25年に県北地方推進本部を設立し、各関係団体の皆様の御協力の下、「食の安全・安心運動」、「生産再生運動」、「風評払拭・消費拡大運動」、「情報発信運動」の4つの運動を柱とした様々な取組を進めてきたところです。

県北管内では、平成29年3月31日に川俣町山木屋地区内の避難指示が解除されました。これにより、管内に避難指示区域はなくなりました。農林業においては、川俣町山木屋地区で花きの生産再開支援を行いトルコギキョウ、小ぎく等の出荷が始まっています。また、伊達地方のあんぽ柿は、昨年度で加工・出荷自粛から再開4年目を迎え、消費者や関係者から要望の多かった個包装の製品の出荷も可能となり、震災前の約75%の出荷量まで回復するなど、着実に復興に向かって前進しています。

本年度は、国が策定した「東日本大震災からの復興の基本方針」で定めた復興期間の後期5年間「復興・創生期間」の2年目となります。当事務所といたしましても、県北地方の農林業の復興・再生に向け、職員一丸となり、より一層尽力していく所存です。

今後も、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げ、挨拶といたします。

野生生物共生センターに福島県産の木製品を設置！

平成29年3月30日(木)、県産材振興の一環として、福島県産のモミを用いて製作した木製の展示用テーブル、イス、掲示板を、大玉村の野生生物共生センターに森林環境税を活用して設置しました。

設置した木製品は、同センターを訪れる人が、木製品に触れ、使うことによって安らぎを感じていただくことを願い、福島県立福島工業高等学校定時制の4年生と3年生のみなさんがデザインし、心を込めて製作しました。

今回、材料として利用したモミは、神社の絵馬などに使われることが多い木材ですが、匂いを吸収する効果があり、機能性食品のように、その効果が認知されれば、家庭での家具への利用などにより一層県産木材の活用が図られるものと考えられます。

当事務所では、県産木材の利用促進と風評の払拭につなげられるよう、公共施設等への木製品の設置に、今後も継続して取り組んでまいります。

(森林林業部)



デザインした福島工業高校の生徒の皆さん



映像の視聴等に使用するイス



展示用のテーブル



センター入り口に設置された掲示板

平成 29 年県北地方山火事防止パレードを開催！

平成 29 年4月7日(金)に福島県庁前で県北地方山火事防止地区連絡協議会の主催による山火事防止パレード出発式が開催され、約 80 名が参加しました。

同協議会会長である須田博行当事務所長のあいさつの後、福島森林管理署や福島市等関係機関の広報車が、信夫山・大波・立子山・飯野方面と松川・土湯・大笹生・飯坂方面の2コースに分かれてパレードを行い、山林周辺での火の取り扱いについて注意を促しました。

速報値では、平成 28 年度の福島県内の林野火災発生数は 40 件で、月別状況を見ると、特に2月から5月の間に集中しています。

このため、同協議会では、農作業や入林者の多くなる4月1日から5月 10 日までを山火事予防強化月間と定め、全国統一標語「火の用心 森から聞こえる ありがとう」の下、山火事防止運動を推進しています。

山林に入る時には、火の取り扱いに十分注意し、山火事を起こさないようにしましょう。

(森林林業部)



協議会会長 須田県北農林事務所長のあいさつ



山火事防止パレードの出発

直売所・みらい百彩館「んめ〜べ」が第8回生産者大会を開催！

平成 29 年 4 月 5 日 (水)、伊達市ふるさと会館MDDホールにおいて、ふくしま未来農業協同組合 みらい百彩館「んめ〜べ」の第 8 回生産者大会が開催され、農産物直売会の会員約 90 名が出席しました。

開会に当たり、ふくしま未来農業協同組合農産物直売会の八巻忠一会長及び同組合の安彦慶一代表理事専務があいさつし、当事務所伊達農業普及所の吉田清所長及び福島県農業協同組合中央会の橋本正典参事が来賓祝辞を述べました。その後、優良出荷会員表彰が行われ、地区常務賞 25 名と農産物直売会会長賞 10 名が表彰されました。

同大会では、平成28年度の会員1人当たりの販売平均金額が過去最高の73万円、年間販売実績は7億8805万円となったことが報告されました。平成29年度についても、イベントを積極的に行いながら、会員1人当たり100万円及び販売金額8億2000万円を目指すこととなりました。目標達成に向け、須田和弥店長から、地場産が少ない品目や時期に関する情報提供や、新たな品目・作型への挑戦について提案がありました。

最後に、「くいしんぼう主婦は常に魅力ある商品を求めている～消費者から見た直売所の魅力とは～」と題し、一般社団法人JCS総研基礎研究部の加藤美紀氏による記念講演がありました。加藤氏からは、直売所を利用している消費者でも朝食は同じようなものになりやすく、野菜料理の献立が少ないとの声が多く聞かれるため、朝食献立の提案や野菜の食べ方について情報提供する等の工夫が必要とのお話がありました。

当事務所としましても、平成29年度の目標を達成できるよう、引き続き、みらい百彩館「んめ～べ」の支援を行っていきます。
(伊達農業普及所)



吉田清伊達農業普及所長の来賓祝辞



加藤美紀氏の記念講演

有害鳥獣被害防止対策に係る意見交換会を開催！

平成29年3月29日（水）、福島市湯野地区のふくしま未来農業協同組合飯坂営農センターにおいて、鳥獣被害防止対策に係る関係機関と農業者との意見交換が行われました。

同地区は県内でも屈指の果樹地帯ですが、以前よりサル被害が著しく、県内でいち早く電気柵を設置し、先進的に対策に取り組んできた歴史を持つ地域です。しかし、近年はイノシシ被害が深刻化しており、特に既に設置しているサル用電気柵は、イノシシに対する効果が無く、掘り起こし等により電気柵設置箇所のできが崩落するなどの新たな問題も顕在化してきています。

今回の打合せには、福島市農業振興室やふくしま未来農業協同組合の担当者と、湯野地区に8つある農振会の会長及び電気柵管理組合の代表等生産者18名、当事務所が参加し、集落の現状や解決に向けた要望、事業の活用方法など、忌憚りの無い意見交換が行われ、現在県が設置しているモデル集落とは別枠の「発展型モデル集落」として位置づけし、取組を強化することを確認しました。

今後は、地域の農業者を含め関係機関が協力して対策に取り組めるよう、普及の調整機能を総動員した支援を行っていきます。（農業振興普及部）



イノシシが掘り返した跡



イノシシによって荒らされた電気柵の除草シート

「県北の農家民宿パンフレット」が完成！

当事務所では、グリーン・ツーリズム等により農村に人を呼び込み地域活性化を図るため、農家民宿の開業を支援しています。

このたび、「おいでよ！県北の農家民宿パンフレット」の最新版が完成しました。

このパンフレットには、伊達市2軒、二本松市21軒、本宮市11軒の合計34軒の管内の農家民宿を掲載しており、各農家民宿ごとの宿泊料や連絡先等が確認できます。また、県北管内の各市町村の観光や祭り・イベント情報も掲載されています。

農家民宿に宿泊すると、豊かな自然の中で農作業を体験したり、その土地の特色ある習慣や文化を身近に感じることができます。また、地元の野菜を用いた手作りの料理や、農村のゆったりとした雰囲気を楽しめることができます。県北地方の美しい里山の風景や、農家や地域の皆さんの温かいおもてなしに感動し、故郷に帰ったような懐かしい気持ちで過ごすことができます。

ぜひ、管内の農家民宿へおいでください！



農家民宿パンフレットの表紙

「おいでよ！県北の農家民宿パンフレット」URL：

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/kikaku-gt.html>

（企画部）

道の駅「国見あつかしの郷」が竣工！

平成29年4月27日（木）、国見町の「道の駅国見あつかしの郷」の竣工式が開催され、関係者や報道機関等に対し内部施設のお披露目が行われました。

「道の駅国見あつかしの郷」は、復興・防災・交流連携の拠点として建設され、直売所やレストラン、宿泊施設、歴史産業情報センター、木とふれあう子ども広場等が設けられており、5月3日（水）に、いよいよグランドオープンを迎えます。

皆様、ぜひ「道の駅国見あつかしの郷」を訪れてみてください。

(企画部)



関係者によるテープカット



直売所の様子

第69回「全国植樹祭ふくしま 2018」大会1年前記念イベントを開催！

記念植樹のほか、丸太切り体験やチェーンソーアートなどの楽しいアトラクションや、おいしいグルメコーナーもあります。当日は、全国植樹祭オリジナルキビタンも初登場！

お楽しみが盛りだくさん！

ぜひ御家族揃っておいてください！

■日時

平成29年6月11日（日）

※小雨決行、荒天時中止

■場所

伊達市霊山町「霊山こどもの村」

※入場料 無料



大会1年前記念イベントのチラシ

「全国植樹祭大会1年前記念イベント」URL：

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/syokujusai/kinenevent.html>

(森林林業部)

けんぼくの6次化の取組の紹介 一般社団法人手づくりマルシェ 「福島の農産物の風評被害を払拭し、福島を元気に！」



私達は、福島の農産物を使ったスイーツやジャムなどの加工品の製作と販売活動に取り組んでおります。現在は飯舘村のブランド品「いいたて雪っ娘かぼちゃ」を使った「かぼちゃシフォンケーキ」をはじめ、福島県産のにんじんやこまつなを使用したシフォンケーキ、福島県内の果樹農家との提携によるジャムなどを製作しております。一つ一つ丁寧に、手作りで作っており、保存料、添加物は一切使わず、素材そのものの持ち味を大切にしています。

特に、「かぼちゃのシフォンケーキ」は、メロンのような果肉と、きれいな黄金色が特徴の「いいたて雪っ娘かぼちゃ」をふんだんに使っており、ヘルシー志向の方にもお勧めです。ベーキングパウダーも使わず、メレンゲの力だけで焼き上げ、しっとりふわふわの食感です。また、新商品として「福島自慢『ブランド認証品』」に選ばれた「塩りんごクッキー」を製作販売しております。焼き塩と砂糖をまぶして、しょっぱい甘いクッキーに仕上げました。福島のりんごを生産者から直接仕入れ、新鮮なうちにジャムにし、生地の中に練り込んでいます。口に入れると、ほろほろ、サクサクとし、りんごジャムの甘さと塩味のハーモニーが絶妙！風味と食感が美味しいクッキーです。「かぼちゃシフォンケーキ」と「塩りんごクッキー」は、全国の主婦がリアルな目線で選んだ御当地商品、吉本興業グループの「よしもと 47 シュフラン」で金賞をいただきました。これからも私達は福島産農産物を使った商品を開発し、福島の美味しい果物や野菜をどんどん全国にPRしていきたいと思っております。

【取り扱い WEB 販売】

●チームふくしまプライド

かぼちゃシフォンケーキ <http://store.shopping.yahoo.co.jp/hajimeppe/an-002.html>

塩りんごクッキー <http://store.shopping.yahoo.co.jp/hajimeppe/an-001.html>

●WEB「特産市」

塩りんごクッキー http://www.ganba-fukushima-tokusan.jp/products/detail.php?product_id=207

【事業者データ】 一般社団法人手づくりマルシェ

住所 福島市矢剣町 17 番8号、電話 024-563-3680、ホームページ <https://f-tezukuri.jimdo.com/>



いいだて雪っ娘かぼちゃを使用した「かぼちゃシフォンケーキ」



「塩りんごクッキー」

編集・発行 福島県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

